

令和3年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ ICT 機器を活用して、資料提示したり、ビデオ映像を見せたりしたことで関心・意欲が高まった。
- ・ ねらいに沿った実験や観察の機会を増やしたことで問題解決することの楽しさを味わうことができ、興味・関心を高めることができた。



(2) 課 題

- ・ 予想に立ち返って実験と結果をふり返るようにし、実験の目的をしっかりと押さえて話し合いに生かすようにする。
- ・ 観察・実験のポイントをおさえ、観察・実験ができるようにワークシートを工夫する。
- ・ ICT 機器を活用し、実際の観察や体験が不足するものを補ったり、視覚的に分かりやすくしたりして、より深い理解につなげ定着を図っていく。



2 大田区学習効果測定の結果について

(1) 達成率（同一集団の経年変化）

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
第4学年	・ 目標値をやや下回る。「じしゃくのせいしつ」に課題がある。		
第5学年	・ 目標値をやや下回る。「1年間の動物のようす」「天気のようにすと気温」に課題がある。	・ 目標値をやや下回る。「生命・地球」「物理エネルギー」に課題がある。	
第6学年	・ 目標値をわずかに下回る。「魚のたんじょう」「けんび鏡の使い方」に課題がある。	・ 目標値をやや下回る。「1年間の動物のようす」「物の体積と温度」に課題がある。	・ 目標値をわずかに上回っている。「こん虫のからだのつくり」に課題がある。

(2) 令和3年度の結果分析（観点別）

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 器具の扱い方や、理科的な用語、磁石の性質について知識が低い。	・ 「電気の通り道」「じしゃくのせいしつ」の選択問題や記述問題が苦手である。	・ 記述問題で大きく目標値から落ちている。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「1年間の動物のようす」「天気のようにと気温」を苦手とする。(5年) 「けんび鏡の使い方」「魚のたんじょう」を苦手とする(6年)	- 特に「電気のはたらき」「月と星」「水のすがた」を苦手とする(5年) 「流れる水のはたらき」「物のとけ方」を課題とする(6年)	「1年間の植物のようす」「自然の中の水」を苦手とする(5年) 「魚のたんじょう」を苦手とする。(6年)

3 授業改善のポイント

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の学習を振り返る時間を設け、学習した内容が知識として定着するように、ワークテストや小テストを実施する。また、実験器具を正しく取り扱うことができるよう、器具の扱い方を繰り返し指導する。	考えを分かりやすく表現することができるよう、ワークシートを工夫する。また、児童のICT機器の活用技能を高め、写真や動画も活用して考えをまとめることができるようにする。	理科に関する番組や学習探検ナビなどのコンテンツを活用し、実際の観察や体験が不足しがちなものを補い、身近な場面から学習課題を設定することができるようにする。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 学習の振り返りを丁寧に行い、自然事象や実験結果などの理解の定着を図る。 - 実験の際は、一人一人の役割を明確にし、どの子も実験する機会を多く設け、器具の使い方や用途について確実に理解させる。	考察場面では、友達の考えや意見にふれる時間を設け、思考・表現が深まるようにする。	- 考察では、新たな疑問や確かめてみたいことを加えて書かせ、次の実験に生かせるようにする。 - 授業の導入を工夫し、自然事象に対する問題意識を高める。